

Digital Application Platform データベースサービス性能監視機能の設定方法

はじめに

Digital Application Platform データベースサービスの性能監視機能につきまして東日本リージョン 2 をご利用の場合の設定変更手順について、以下の手順により設定の変更を実施お願いします。

1. DB 仮想サーバの監視機能の利用終了

現在ご利用の東リージョン 2 の監視機能の利用終了の実施をお願いいたします。

[注意]

- ・本 DB 仮想サーバの監視機能の利用終了を実施すると、2 章の利用開始を実施するまで性能監視情報の取得が停止します。そのため、業務影響の少ない時間での実施をお願いいたします。
- ・本利用終了により東リージョン 2 の監視サービスでの性能情報の更新が停止し、2 章で利用開始後にデータの引継ぎは実施できません。そのため、事前に必要がある場合は既存のデータについてはバックアップを取得してください。

[参照]

監視機能の利用終了方法については以下をご参照してください。

- ・FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application platform データベースサービス ユーザーズガイド
3.4 性能監視
監視機能の利用終了

2. DB 仮想サーバの監視機能の利用開始

再登録時は東リージョン 2 のプロジェクト ID は不要になります。

再度監視機能の利用開始を実施してください。

[参照]

監視機能の利用開始方法については以下をご参照してください。

- ・FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application platform データベースサービス ユーザーズガイド
3.4 性能監視
監視機能の利用開始

3. アラーム設定

東リージョン 2 の監視サービスにご登録の設定を登録しなおしてください。

[参照]

アラーム設定方法については以下をご参照してください。

- ・ FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application platform データベースサービス ユーザーズガイド
3.4 性能監視
アラーム設定
-

4. 監視項目の参照

2章で監視機能の利用開始を実施すると再度監視項目の更新が再開されます。

FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application platform データベースサービスの操作ポータル、またはAPIにて監視項目が登録されていることをご確認ください。

[参照]

.....

監視項目の参照については以下をご参照してください。

- ・ FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application platform データベースサービス 操作ポータルユーザーズガイド
第8章 性能監視
 - ・ FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application platform データベースサービス ユーザーズガイド
3.4 性能監視
監視項目の参照
-

以上